

Panasonic

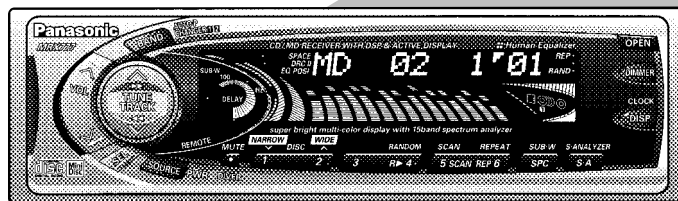
アクティブディスプレイ
DSP・CD・MDサウンドステーション

CD/MD RECEIVER WITH DSP & ACTIVE DISPLAY

取扱説明書

品番

CQ-MRX777D/SD



CQ-MRX777D

CAR AUDIO

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc

保証書別添付

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店
からお受け取りください。

このたびは、パナソニックカーオーディオ アクティブディスプレイ DSP・CD・MDサウンドステーションCQ-MRX777D/SDをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

特長

1DIN DSP内蔵 CD/MDレシーバー
(CD, MD, FM/AM, DSP/EQ, 40 W × 4 ch アンプ)

昼・夜で違った顔を演出

- 透過メタリック塗装パネル使用で、昼・夜の表情が変わります。
- ブラックライトをあてると、パネルが光ります。

DSP/EQ内蔵
15バンドスペアナ表示

TV音声入力付き
(後面AUX入力コード)

お願い

ブラックライトをご使用になるときは、本機から20 cm以上離して取り付けてください。ラジオのノイズや誤動作の原因になります。

CQ-MRX777D と CQ-MRX777SD との相違点

- CQ-MRX777SD は、CQ-MRX777D に対して同機能で塗装色が異なります。
- CQ-MRX777D と CQ-MRX777SD の配線のしかたは、全て同じです。
- イラストは、CQ-MRX777D が記載されています。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	4
ご使用前に	
付属品	6
リモコンの準備	6
● 電池の入れかた	
● 使用する電池	

各部のなまえ

操作パネル(前面)部	7
ディスプレイ部	8
後面部	8
リモコン	9

使いかた

共通操作

電源を入れる	10
電源を切る	10
聴きたいサウンドソース(音源)を選ぶ	10
音量を調整する	11

ラジオを聴く

ラジオの通常表示	14
サウンドソースをラジオにする	15
バンドを選ぶ	15
放送局を選ぶ	15
放送局を手動でメモリーする	16

CDを聴く

CDの通常表示	18
サウンドソースをCDにする	19
聴きたい曲を選ぶ	19
早送り/早戻しをする	19
自動的に曲を選ばせて聴く	20

MDを聴く

MDの通常表示	22
サウンドソースをMDにする	23
聴きたい曲を選ぶ	23
早送り/早戻しをする	23
自動的に曲を選ばせて聴く	24

操作パネルを開閉する	11
時計を調整する	12
時計を表示する(表示を切り替える)	13
電源OFFのときに時計を表示する	13

放送局を自動的にメモリーさせる	16
メモリーした放送局を呼び出す	16
FM放送をよりよく受信する	17
AM放送を迫力ある音声で聴く	17
表示を切り替える	17

聴きたい曲を探す	20
同じ曲を繰り返し聴く	20
表示を切り替える	21
CDを取り出す	21

聴きたい曲を探す	24
同じ曲を繰り返し聴く	24
MDのタイトルを表示する(表示を切り替える)	25
MDを取り出す	25

もくじ(つづき)

使いかた(つづき)

チェンジャーでCD/MDを聴く

チェンジャーの通常表示	26	自動的に曲を選ばせて聴く	28
サウンドソースをチェンジャーにする	27	聴きたい曲やディスクを探す	28
聴きたいディスクを選ぶ	27	同じ曲やディスクを繰り返し聴く	29
聴きたい曲を選ぶ	27	MDのタイトルを表示する(表示を切り替える)	29
早送り/早戻しをする	27	2台のチェンジャーを切り替える	30

設定・その他

サウンド設定

サウンド設定の表示	31
サウンド設定項目を選ぶ	31
ヒューマンイコライザー(HEQ)	32
●音質を調整する ●音場を再現する ●音場空間を調整する	
グラフィックイコライザー(GEQ)	34
●音質を周波数ごとに調整する ●調整した音質をメモリーする ●音質のメモリーを呼び出す	
左右前後の音量バランスを調整する	36
乗車位置に合わせた音像にする	36
リヤースピーカーで低音域を強調する	37
●リヤースピーカーの低音域を補強する ●リヤースピーカーをサブウーファー専用出力にする	
走行騒音を補正する	38

プリアウト(外部出力)設定

プリアウト設定の表示	39
プリアウトの設定を選ぶ	39
サブウーファー出力(PREOUT SUB・W)	40
●サブウーファー出力の設定項目を選ぶ ●音量レベルを調整する	
●スピーカーと出力タイミングを合わせる ●出力する低域周波数の上限を設定する	
スルー出力(PREOUT THRU)	42
●スルー出力の設定項目を選ぶ ●音量レベルを調整する ●フェダー調整との連動を設定する	

便利な機能

便利な機能の表示	44	ディスプレイの明るさを設定する	46
スペアナ表示を切り替える	44	一時的に音を消す	46
スペアナ表示をアレンジする	45	外部機器の音声を聴く	46
文字表示部をスペアナ表示にする	45	ナビの音声案内を聴く	46

その他の設定

その他の設定項目を選ぶ	47	MDタイトルをスクロールする	48
ボタン操作確認音の有無を設定する	47	ナビミュートの本機の音量を設定する	48
セキュリティインジケータを設定する	47	スペアナ表示の動きの速さを設定する	49

スモールライト消し忘れ防止アラーム

リムーバブルフェイスについて	50
----------------	----

必要なときに

お手入れのしかた	52	万一、異常動作をした場合	57
CD(コンパクトディスク)の取り扱い	52	配線のしかた	58
MD(ミニディスク)の取り扱い	53	取り付けのしかた	62
故障についてのお願ひ	53	仕様	64
故障と思われる前に	54	アフターサービスについて	65

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を，次の表示で区分し，説明しています。



警告

この表示の欄は，「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は，「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を，次の絵表示で区分し，説明しています。
(下記は，絵表示の一例です。)



この絵表示は，してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は，必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない



禁止

走行中に操作をすると，前方不注意による交通事故の原因になります。
操作は安全な場所に停車して行ってください。

⚠ 注意

取り付け、配線は専門技術者に依頼する



本機の実り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造はしない



本機を分解したり改造すると、発煙・発火の原因になります。

分解禁止

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変な匂いがする等の異常な状態で使用すると、発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買上げの販売店にご相談ください。

決められたヒューズを使用する



ヒューズ交換は必ず表示された規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火の原因になります。

可動部に手・指や異物を入れない



禁止

可動部に手・指や異物を入れるとけがや故障の原因になります。

ご使用前に

はじめに

付属品

ご確認ください。

1. 取扱説明書.....	1
2. 取り付け用付属品.....	一式 (P.62 参照)
3. 電源コネクタ.....	1
4. リモコン.....	1
5. リチウム電池 (CR2032).....	1
6. 保証書.....	1
7. お客様ご相談窓口一覧表.....	1

リモコンの準備

電池の入れかた

1. 電池ケースを出します。

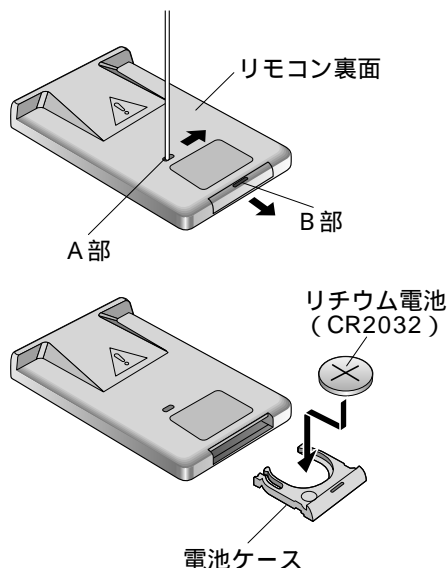
ボールペンの先のような折れない細い棒などを差し込み、A部を矢印の方向に押しながらB部を持って引っ張り出してください。

2. リチウム電池(CR2032)を入れます。

(+)(-)を間違えないように右図どおりに入れてください。

3. 電池ケースを入れます。

最後まできちんと入れてください。



使用する電池

- 使用電池 : パナソニック リチウム電池 (CR2032)
- 電池の寿命 : 通常の使用状態で約6ヶ月使用できます。(常温時)

⚠ 警告

リチウム電池は正しく使用する



- (1) 充電, ショート, 分解, 変形, 加熱, 火に入れるなどしないでください。発火・発熱・破裂の原因になります。
- (2) 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- (3) 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると、発火・破裂の原因になります。

⚠ 注意

電池の(+)(-)を正しく入れる

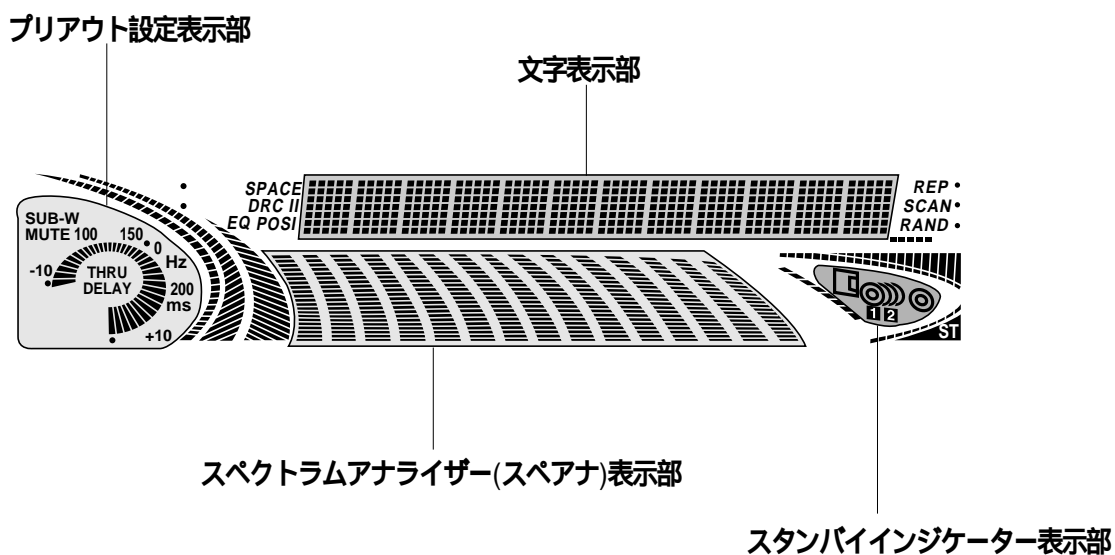


電池の使いかたを間違えますと、液漏れや破裂の恐れがあり、けがや故障などの原因になります。(+)(-)を正しく入れてください。

各部のなまえ (つづき)

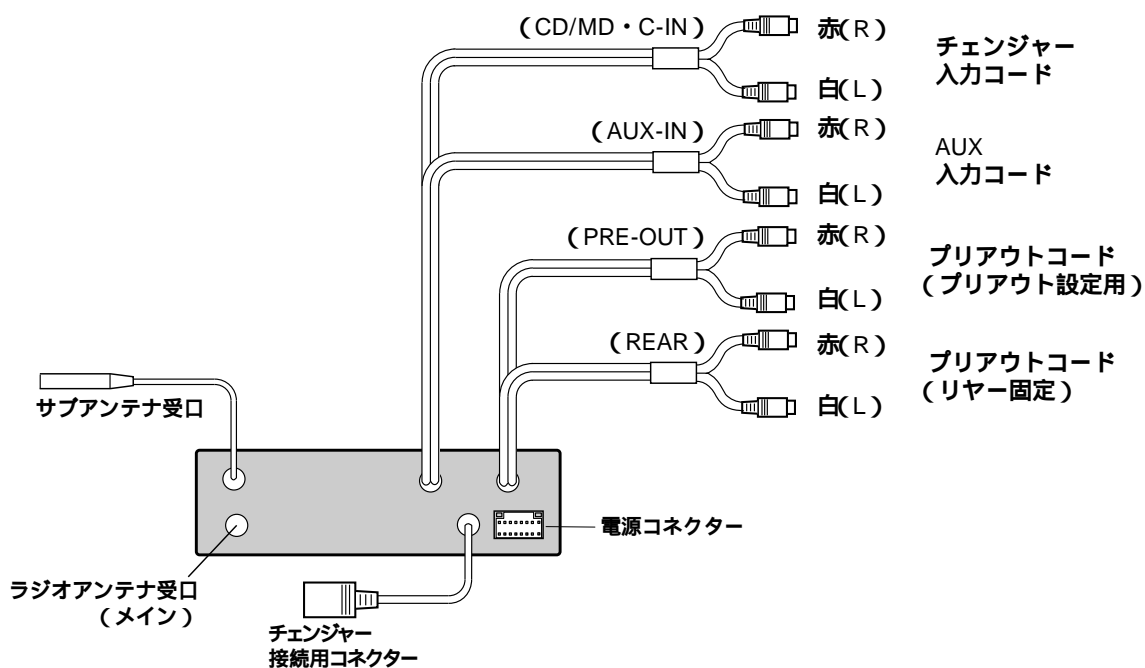
はじめに

ディスプレイ部



後面部

配線のしかたは、P.58 ~ 61 をご参照ください。



リモコン

操作パネルと同様に操作してください。

世界共通仕様になっているため、リモコンには本機の操作に使用する DIMMER ボタン がありません。操作パネルで操作してください。

お知らせ

- リモコンの電池の入れかたは、P.6 をご参照ください。
- 操作パネルが開いているときや取りはずされているときは、リモコンの操作ができません。

リモート

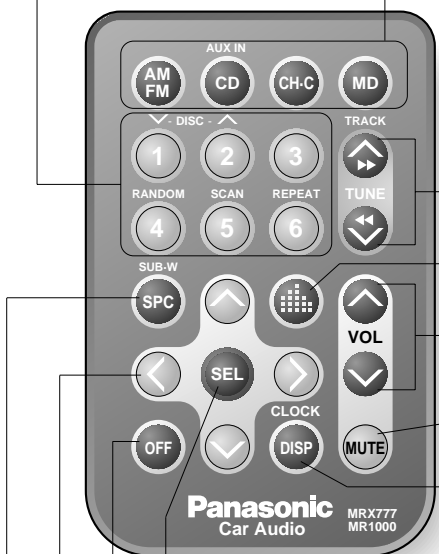
操作パネルの REMOTE (リモコン受光部) に向けて、操作してください。(P.7 参照)

- 1, DISC , NARROW ボタン
- 2, DISC , WIDE ボタン
- 3 ボタン
- 4, R▶ (RANDOM) ボタン
- 5, SCAN ボタン
- 6, REP (REPEAT) ボタン

： PWR, SOURCE ボタン

(何れか一つ押すと、電源が入ります。)

- AM / FM ボタ (BAND ボタン, AUTO・P ボタン)
- CD, AUX IN ボタン (AUX IN : 2秒以上押す)
- CH・C ボタン (CHANGER 1 2 ボタン)
- MD ボタン



TUNE , TRACK ▶▶ ◀◀ ボタン

スピーカ
S・A ボタン

VOL ボタン

MUTE ,(DIVER) ボタン

DISP , CLOCK ボタン

SEL ボタン

OFF ボタ リモコンのみ。
操作パネルでは、PWR ボタン を1秒以上押します。

, <> ボタン リモコンのみ。
操作パネルでは、VOL , TRACK ▶▶ ◀◀ ボタ
ンを使用します。

SPC , SUB・W ボタン